

本が読める喜びを

新型コロナによる自粛生活が続く中、「図書館へ行きたいのに...」という声を多く聞きました。取材をしてみると、図書館ではコロナ対策を行いながら、すべての人が読書を楽しめるような工夫を行っていました。おうち時間が増えた今だからこそ、ゆっくり読書を楽しんでみてはいかがでしょうか？

電子書籍はオーテピア高知図書館で



電子書籍を利用すると、自宅のパソコンやスマートフォン等でも蔵書を検索し借りることができます。

オーテピア高知図書館・高知市民図書館分館分室共通利用カードの申し込みと、高知県電子図書館の登録をすれば誰でも利用できますので、ぜひご利用ください。

図書館NEWS

香我美図書館開館30周年



▲香我美図書館の外観

香我美図書館が、今年で開館30周年になるとのことです。現在の蔵書冊数は、約55,000冊。また、返却ポストを24時間利用可能とし、本は読みたいが来館をためらわれている方でも利用できます。読み終えた図書は、

■野市図書館 ■香我美図書館 ■夜須図書室
のいずれでも返却できます。

香我美図書館の歩み

平成3年5月

香我美町立図書館開館



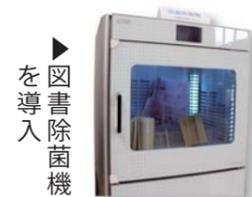
昭和55年4月

香我美町町民会館落成。同会館内に図書室を設置



令和2年より

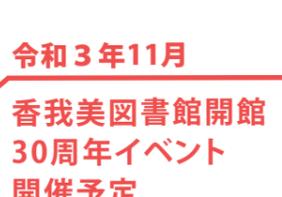
市内図書館はコロナ対策をすすめる



▶ 図書除菌機を導入

平成18年3月

合併により香南市香我美図書館に名称変更



令和3年11月

香我美図書館開館30周年イベント開催予定

“おかげさまで30周年 これからもずっと”

●香我美図書館は30歳となりました。これからも市民に愛される「情報発信の場」として皆さまとともに発展し続けたいと思います。引き続きのご愛顧、よろしくお願いします。



鹿取館長

●コロナで家にいる時間が増えた今、ぜひ図書館をご利用ください。第1～4土曜日の読み聞かせにもお気軽にご参加ください。

司書・公家

●今年で30周年になり、イベントも予定しています。皆様のご来館をお待ちしています。

司書・佐竹

もっとエンジョイ、 図書館ライフ。



■香南市には今も昔も親しまれてきた「野市図書館」「香我美図書館」「夜須図書室」があります。市内図書館では、少しでも市民に、安心して楽しいブックライフを過ごせるよう、さまざまな取り組みやサービスを進めているそうです。

広報編集委員 担当/島村立法

バリアフリー図書とは、読書が困難な方にも読みやすい工夫された本のことを指します。高知市にある「オーテピア高知図書館」と「オーテピア高知声と点字の図書館」の協力により、野市図書館では2～3月の借りだし期間限定でバリアフリー図書(下の4種類)のコーナーを設けて、体験できるようになっていました。

野市図書館で展示されていたバリアフリー図書

録音図書(声の本)



活字図書を音声で読み上げ、CDやカセットテープに録音した図書。耳で聴いて読書を楽しむことができます。

布絵本



さまざまな障害をもつ子どもたちが、遊びのなかで、機能訓練を行うための、絵本と教具の働きを兼ね備えた本。

大活字本

※野市図書館でも導入されています



小さな文字が見えづらい人にも読みやすいように、大きな文字で書かれた本。

点字図書



活字図書を点字に打ち直した本。触って凹凸のわかる地図や絵本もあります。

今後は香南市でも、バリアフリー図書に触れる機会を増やしていきたい、とのこと。

バリアフリー図書を 知っていますか？

